

## 要約 京都の経営経済動向調査結果 (2009. 10. 9)

- 2009年7～9月期実績と2009年10～12月期及び2010年1～3月期予想 -

京都商工会議所  
担当：中小企業経営相談センター  
電話 (075) 212-6467

### 国内景気、自社業況とも2期連続でマイナス幅を縮小 ～自社業況は下げ止まり感が強まる～

#### 概要

自社業況は▲17.6となり、前期比でマイナス幅が3.7ポイント縮小した。改善が進む大企業製造業を中心に各指標のマイナス幅が縮小傾向で推移しており、全体として下げ止まり感が強まっている。また、国内景気は、前期比で下降幅をさらに17.0ポイント縮小し、次期にかけてほぼ横ばいを見通すなど持ち直しへの期待感が強まっている。

一方で、中小企業を中心に、依然として生産・売上高の減少や資金繰りの悪化など厳しい水準が続いており、先行きについても慎重な見方が強く、中小企業の改善への足取りは重い。

(注) 8月下旬から9月上旬にかけ同調査を実施し、615社中527社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店を持つ企業)。また7～9月期のBSI値は、2009年4～6月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

#### I 国内景気動向

7～9月期のBSI値は、▲8.3(前期実績▲25.3)と下降したものの、前期に比べ下降幅を大きく狭めた。今後の10～12月期はほぼ横ばい、続く2010年1～3月期は▲3.5と幾分下降するものの、全体として下降傾向がやわらぎ、先行き持ち直しへの期待感が強まる見通しとなっている。

#### II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 7～9月期のBSI値は、▲17.6(前期実績▲21.3)とマイナス幅を縮小したものの下降傾向で推移した。今後の10～12月期は年末需要を背景に▲2.4とさらに下降幅が狭まり、下げ止まり感が強まるものの、続く2010年1～3月期は▲12.7と慎重な見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 7～9月期のBSI値は、▲15.1とマイナス幅を狭めたもののさらに減少した。今後の見通しについて規模別に見ると、大企業は10～12月期にかけて増加を予想するものの、中小企業はほぼ横ばいで推移する見通しで、続く2010年1～3月期も中小企業で慎重な見方が目立つなど、規模間で差が見られる。
2. 製・商品・サービス・請負価格 7～9月期のBSI値は、▲11.6とさらに下降を続けた。今後の見通しについて業種別に見ると、10～12月期は、季節的要因もあって旅館・ホテル、その他サービス業などのサービス業や食料品卸など卸売業の一部業種で上昇するものの、精密機械、電気機械、一般機械などの製造業を中心に下降を見通しており、その後もほとんどの業種で下降を続ける見通しとなっている。

3. 経常利益 7～9月期のBSI値は、▲16.4と、減益傾向で推移した。今後の見通しについて業種別に見ると、10～12月期は、建設業や繊維製品、木材・木製品、その他製造業などの製造業、不動産業といった業種で減益を見通す一方、季節的要因もあって、小売業や食料品卸などの卸売業、旅館・ホテルなどのサービス業といった業種で増益を予想する企業が増加し、全体として減益傾向が弱まる見通しとなっている。続く2010年1～3月期は、幅広い業種で減益を予想しており、依然慎重な見通しとなっている。
4. 所定外労働時間 7～9月期のBSI値は、▲9.1と減少を続けた。今後の見通しについては、10～12月期は不動産業で増加するほか、季節的要因もあって、食料品関係や旅館・ホテルなど観光関連の業種で増加し、全体としても幾分増加を見通している。一方、続く2010年1～3月期は▲7.7と再び多くの業種で減少する見通しとなっている。
5. 製・商品在庫 7～9月期の製・商品在庫は、「適正」とする企業が71.5%と概ね適正水準で推移したが、一部に過剰感が見られた。業種別に見ると、繊維製造、繊維卸、繊維製品製造などの繊維関係業種や、窯業・土石や一般機械などで過剰感が見られた。今後についても窯業・土石や繊維関係など一部で過剰感が残るが、2010年1～3月期には全体として過剰感がやわらぎ概ね適正水準で推移する見通しとなっている。
6. 資金繰り 7～9月期のBSI値は、▲11.2と悪化傾向で推移した。今後の見通しについて規模別に見ると、大企業は緩やかにマイナス幅が狭まる予想をしている一方、中小企業は改善のテンポが鈍く、規模間で差が見られる。

### III 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」(80.6%)が前回に続き第1位になった。第2位は「過当競争」(30.6%)で、第3位に「製・商品(請負)価格安」(28.1%)、第4位に「人件費負担増大」(20.5%)、第5位に「原材(燃)料高」(11.2%)と続いた。2位の「過当競争」は前回3位から、5位の「原材(燃)料高」は前回7位からそれぞれ順位を上げた。

国内景気		実績			予想					
		2009年7～9月期			2009年10～12月期			2010年1～3月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲ 8.3	16.1	32.7	0.4	23.6	22.8	▲ 3.5	17.4	24.4
規模別	大企業	▲ 1.1	20.5	22.6	6.9	28.3	14.5	2.5	20.7	15.8
	中小企業	▲ 11.2	14.3	36.6	▲ 2.2	21.8	26.1	▲ 5.7	16.2	27.6
業種別	製造業	▲ 5.2	21.8	32.2	2.3	24.9	20.3	▲ 0.9	21.5	23.3
	卸売業	▲ 10.8	10.0	31.5	2.9	24.3	18.5	▲ 3.6	14.3	21.4
	小売業	▲ 25.0	8.3	58.3	▲ 10.5	8.3	29.2	▲ 12.5	4.2	29.2
	建設業	▲ 1.4	13.9	16.7	▲ 4.2	22.2	30.6	▲ 1.4	11.1	13.9
	不動産業	▲ 12.5	5.0	30.0	▲ 7.9	15.8	31.6	▲ 5.0	15.0	25.0
	運輸・倉庫業	▲ 7.1	14.3	28.5	0.0	25.0	25.0	▲ 7.1	17.9	32.1
	サービス業	▲ 13.7	9.5	36.9	▲ 0.6	25.3	26.5	▲ 7.8	14.5	30.1

自社業況 (総合判断)		実績			予想					
		2009年7～9月期			2009年10～12月期			2010年1～3月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲ 17.6	15.5	50.7	▲ 2.4	26.9	31.7	▲ 12.7	15.4	40.7
規模別	大企業	▲ 10.8	20.1	41.6	1.5	31.0	28.1	▲ 5.0	20.4	30.3
	中小企業	▲ 20.3	13.7	54.2	▲ 3.9	25.3	33.1	▲ 15.6	13.4	44.6
業種別	製造業	▲ 13.7	20.5	47.9	▲ 4.1	23.6	31.8	▲ 12.6	16.7	41.8
	卸売業	▲ 22.8	10.3	55.9	2.2	32.3	27.9	▲ 11.1	13.2	35.3
	小売業	▲ 31.9	4.5	68.2	13.7	40.9	13.6	▲ 9.1	18.2	36.4
	建設業	▲ 20.8	5.6	47.2	▲ 7.0	22.2	36.1	▲ 9.8	16.7	36.2
	不動産業	▲ 10.0	15.0	35.0	0.0	35.0	35.0	▲ 7.5	15.0	30.0
	運輸・倉庫業	▲ 21.5	7.1	50.0	0.0	28.6	28.6	▲ 23.3	7.1	53.6
	サービス業	▲ 20.8	14.3	55.9	▲ 4.9	28.0	37.8	▲ 14.1	14.6	42.7

※ B.S.I.値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) ×  $\frac{1}{2}$